



(C) Designroom RUNE 2000-2015
総計-363209 本日-30 昨日-227

■ [トップページへ](#)→ ※トップページから入ると、
「今日の馬込文学」が今日の記事になります。

■ [馬込文学マラソンとは？](#)→

■ 制作: [DesignroomRUNE](#)→ (n-kensaku/
[Blog「東京都大田区・町歩き」?](#))→ [Twitter](#)→)

NEWS-2013.2.2(土)

[「平家物語」のページをアップしました。](#)
[馬込文学圏に伝承がある2頭の馬「池月」](#)
[「磨墨」について書かれている箇所をピック](#)
[アップ](#)→

[芥川龍之介『魔術』](#)→

[池部 良『風が吹いたら』](#)→

[石川善助『亜寒帯』](#)→

[石坂洋次郎『海を見に行く』](#)→

[稲垣足穂『一千一秒物語』](#)→

[井上司朗『証言・戦時文壇史』](#)→

[井上 靖『氷壁』](#)→

[宇野千代『色ざんげ』](#)→

[尾崎士郎『空想部落』](#)→

[片山広子『翡翠』](#)→

[川口松太郎『日蓮』](#)→

[川端康成『雪国』](#)→

[北園克衛『北園克衛詩集』](#)→

[北原白秋『桐の花』](#)→

[国枝史郎『神州縦横城』](#)→

[倉田百三『出家とその弟子』](#)→

[小池真理子『欲望』](#)→

[小島政二郎『眼中の人』](#)→

[近藤富枝『馬込文学地図』](#)→

[榊山 潤『馬込文士村』](#)→

[佐多稲子『水』](#)→

[志賀直哉『暗夜行路』](#)→

[信濃前司行長ら『平家物語』](#)→

空襲後の馬込文学圏(大森)とB29爆撃機 ※石川光陽によって1946年12月31日以前に作成された写真(旧著作権法によって著作権の保護期間が満了している)と、アメリカ合衆国の著作権法によってパブリックドメインに属する写真を使用しました 出典:『大田区史(下)』P.616、[ウィキペディア／日本本土空襲\(平成26年1月25日更新版\)](#)→

子母沢寛『勝海舟』→
城 昌幸『怪奇製造人』→
関口良雄の『昔日の客』→
瀬戸内晴美『美は乱調にあり』→
染谷孝哉『大田文学地図』→
高見 順『死の淵より』→
辻 潤『絶望の書』→
辻まこと『山の声』→
野村 裕『馬込文士村の作家たち』→
萩原朔太郎『月に吠える』→
萩原葉子『天上の花』→
林鷺峰『桃雲寺再興記念碑』→
広津和郎『昭和初年のインテリ作家』→
藤浦 洗『らんぷの絵』→
プロコフィエフの『彷徨える塔』ほか→
堀 辰雄『聖家族』→
牧野信一『西部劇通信』→
真船 豊『馳(いたち)』→
間宮茂輔『あらがね』→
三島由紀夫『豊饒の海』→
南川 潤『風俗十日』→
三好達治『測量船』→
村松友視『力道山がいた』→
室生犀星『黒髪の手』→
山本周五郎『樅ノ木は残った』→
吉屋信子『花物語』→

昭和20年4月15日(1945年。70年前の4月15日)の深夜から、東京都大田区のほぼ全域(羽田、大森、荏原、蒲田など)に、大規模な空襲がありました。城南大空襲と呼ばれるものです。

アメリカ軍爆撃機B29が202機飛来しました。死者が841名出て、夥しい遺体が本門寺公園に仮埋葬されたといえます。命を落とさないまでも、目を失った人、腕を失った人、足を失った人、顔に大やけどを負った人、家族や友を失った人と数え上げたら、どれだけのになったでしょう。焼失家屋は約7万戸(22万戸とも)。池上本門寺は惣門・五重塔・輪蔵を除いてほぼ全焼、多数の国民学校、東京独逸学園も焼け、多摩川大橋も焼け落ちました。それまでは遠くの出来事だった戦争(“兵隊さん万歳”の戦争)が、空襲されるようになって、死体を目の当たりにするようになり、傷つき泣き叫ぶ子を見て、愛する郷土が無惨に碎かれるのを見て、人々は初めて戦争の実体に直面したといえます。

同地域はその日までに、前年(昭和19年)12月11日、同年(昭和20年)1月11日、2月16日、2月19日、3月5日、4月4日と空襲があり、以後も、4月15日、4月19日、5月23-25日、5月29日(※1)、8月13日と繰り返し空襲がありました。佐藤朝山が初期作品もろともアトリエを焼かれ、衣巻省三も家を焼かれ、小関智弘氏の父親の工場は創業の日に灰となり、川端龍子の家も破壊されました。

ここらへんが狙われたのは、軍需産業がさかんだったからのようです。大田区(当時は大森区と蒲田区)は、昭和7年には1,112箇所だった工場が、昭和16年には5倍近くの5,148箇所に跳ね上がっています。その多くが兵器製造に携わったと推測されます。遠距離無差別爆撃用の「風船爆弾」の生産拠点「国際化学工業研究所」も蒲田にありました(※2)。風船爆弾は失敗に終わりましたが、日本軍も無差別攻撃の兵器を使用したわけで、アメリカ軍の無差別攻撃ばかりを攻めるわけにはいきません(※3)。日本軍は真珠湾攻撃でも米側民間人100名以上を死傷させたし、大陸でも南方でも少なからず民間人を傷つけたことでしょう。

日本本土の空襲は、昭和19年末から激しくなり、敗戦日8月15日当日まで続きます。全国で200以上の都市が攻撃を受け、死者33万人、負傷者43万人、被災人口970万人にも及ぶといえます(原爆の被害も含む)。国宝・重要文化財も、その9割以上が焼失したとのこと。東京だけでも、昭和20年3月10日の東京大空襲(※4)、4月15日の城南大空襲など106回空襲されたそうです。



燃える池上本門寺祖師堂から運び出された日蓮像。火がついた服を脱がし、墓の下空間にかくまわれて燃えずに済む ※「クリエイティブ・コモンズ 表示-継承 3.0 非移植」ライセンスのもとに利用が許諾されている写真を利用しました。撮影:Noriaki Oota 出典:ウィキペディア／池上本門寺(平成27年4月1日更新版)→

秀吉の北条攻めの際、馬込に落ち延びたという臼田勘解由。その際担いできたという「剣難除け金剛地蔵」(南馬込三丁目)。戦中、「弾除け地蔵」として信仰された [map](#)→

※1： [↑](#) 大森北大空襲。小関智弘氏の父親の工場はこの日操業したが、この日焼けてしまった。カトリック大森教会(大森北二丁目 [map](#)→)の高さ17mのゴシック式の鐘楼も焼ける。入新井公園(大森北一丁目 [map](#)→)には、昭和20年1月11日、5月23日、5月29日の空襲による犠牲者を供養する万霊地蔵尊が建つ



万霊地蔵尊

※2： [↑](#) 大森駅東口ビル([map](#)→)あたりにはかつて白木屋デパートが建っていたが、こゝも風船爆弾製造にあてられていたとうわさしていた

※3： [↑](#) 昭和19年11月3日に放たれた風船爆弾は太平洋を越えてアメリカ大陸に達した。オレゴン州に落ちた不発弾でピクニック中の民間人(女性1人と子ども5人)が爆死した

※4： [↑](#) 東京の1/3以上を灰にし8～10万人もの死者が出た



添田知道の『空襲下日記』。添田は戦中、馬込文学園(現・東馬込二丁目)におり、そこで空襲にあった

『山本周五郎 戦中日記』。周五郎も戦争中、馬込文学園(現・南馬込一丁目)にいた



小関智弘『大森界限職人往来(岩波現代文庫)』。大森北大空襲で小関氏の父の工場は創業した日に焼けた

平塚枉緒『米軍が記録した日本空襲』

■ 参考文献:

- ・『空襲下日記』 ※購入サイト(Amazon)へ→
(添田知道 刀水書房 昭和59年発行) P.99-100、P.124
- ・『大田区史年表』 ※購入サイト(Amazon)へ→
(監修:新倉善之 東京都大田区 昭和54年発行) P.472-P.474
- ・『大田区史(下巻)』 「日本の古本屋」で探す→
(東京都大田区 平成8年発行) P.451、P.579、P.593-595、P.616
- ・『大森界限 職人往来』 ※購入サイト(Amazon)へ→
(小関智弘 朝日新聞社 昭和56年初版発行 昭和56年3刷参照) P.45
- ・『馬込文士村の作家たち』 ※購入サイト(Amazon)へ→
(野村裕 自費出版 昭和59年発行) P.45
- ・『図説 太平洋戦争』
(太平洋戦争研究会 河出書房新社 平成7年初版発行 平成13年12刷参照)
P.27
- ・『池上本門寺百年史』
(新倉善之 日蓮大聖人第七百遠忌報恩奉行会 昭和56年発行)
P.366-368
- ・『フォトガイド 東京の戦争と平和を歩く』
(東京都歴史教育者協議会編 平和文化) P.95

■ 参考サイト:

- ・[ウィキペディア／東京大空襲](#)→
- ・[ウィキペディア／日本本土空襲\(平成25年4月9日更新版\)](#)→
- ・[ウィキペディア／風船爆弾\(平成25年8月8日更新版\)](#)→
- ・[カトリック東京大司教区／教会案内／大森教会](#)→

※当ページの最終修正年月日
2015.4.15

[この頁の頭に戻る](#)

|